



国立情報学研究所@2020.9.25

「第17回 4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」

教員から見たオンライン授業 —京都大学での教員調査から—

山田 剛史

京都大学高等教育研究開発推進センター・准教授

オンライン授業支援サイト「Teaching Online@京大」
<https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/>

本日の内容

0. 調査の概要

1. どのようなオンライン授業が選択・実施されたのか？
2. オンライン授業の実施にどの程度傾倒したのか？
3. オンライン授業を実施して、学生の学習効果をどの程度実感しているか？
4. オンライン授業を実施して良かったこと、困っていることはどんなことか？
5. 後期以降のオンライン授業についてどのような見通しを持っているか？

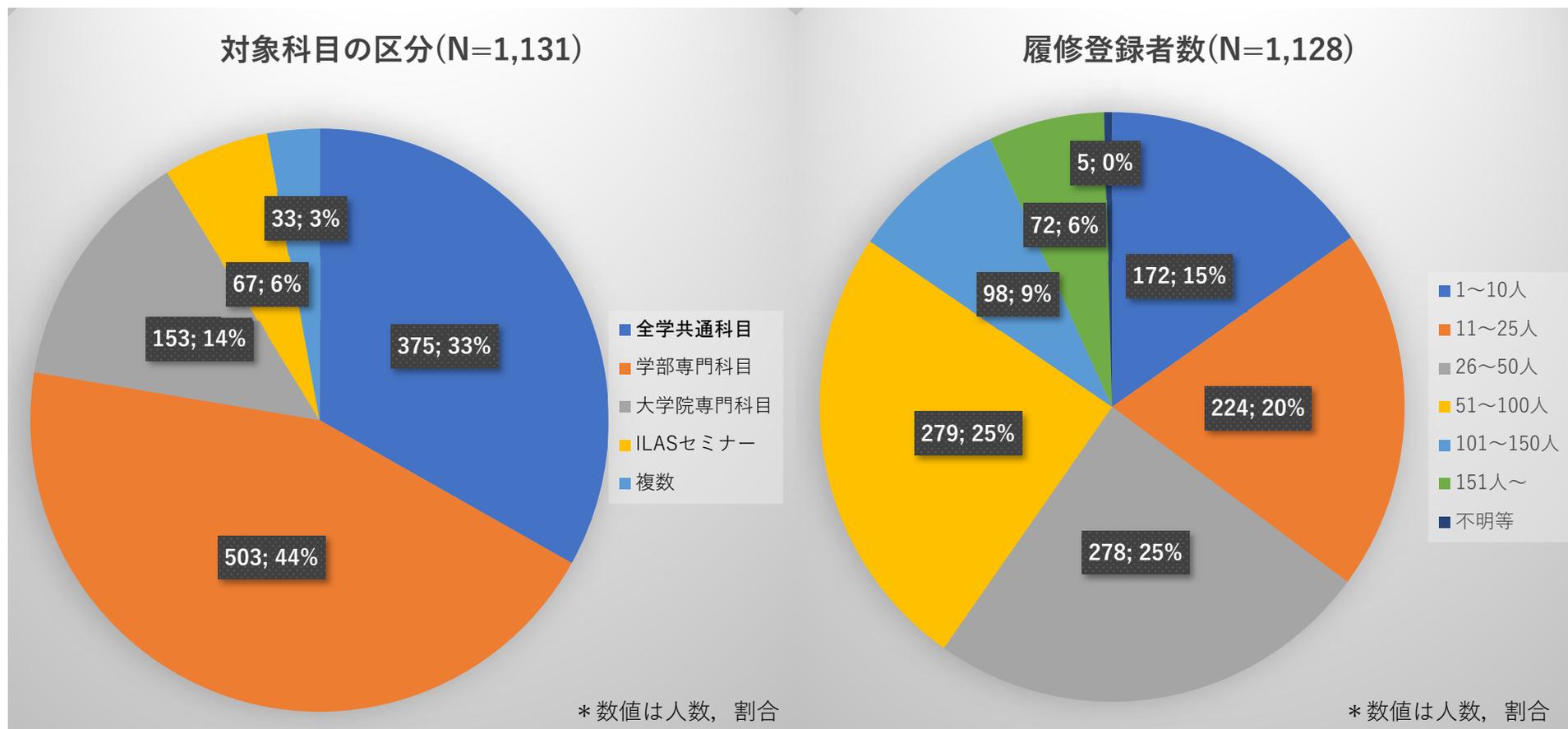
調査概要

- 「2020年度前期 オンライン授業に関するアンケート調査」
- 実施時期 2020年7月22日（水）～8月5日（水）
- 調査設計 高等教育研究開発推進センター教育アセスメント室
情報環境機構
- 調査方法 オンライン調査（日本語版，英語版）
- 実施方法 KULASISを通じて，前期の授業担当者宛に通知
- 調査対象
前期の授業担当者1,775名
内訳：常勤1,472名，非常勤303名
- 有効回答者数（回答率）
全体1,182名（66.6%）
内訳：常 勤927名（調査対象内63.0%／有効回答内78.4%）
非常勤255名（調査対象内84.5%／有効回答内21.6%）

KULASIS: 履修，成績登録などのシステム，
簡単な資料配布や学生へのメール連絡が可能
PandA: 京都大学のLMS, KULASISと科目，
履修簿を連携
Zoom: 本年度に全学規模でライセンス導入，
PandAとLTI 連携

対象科目*の区分とクラスサイズ

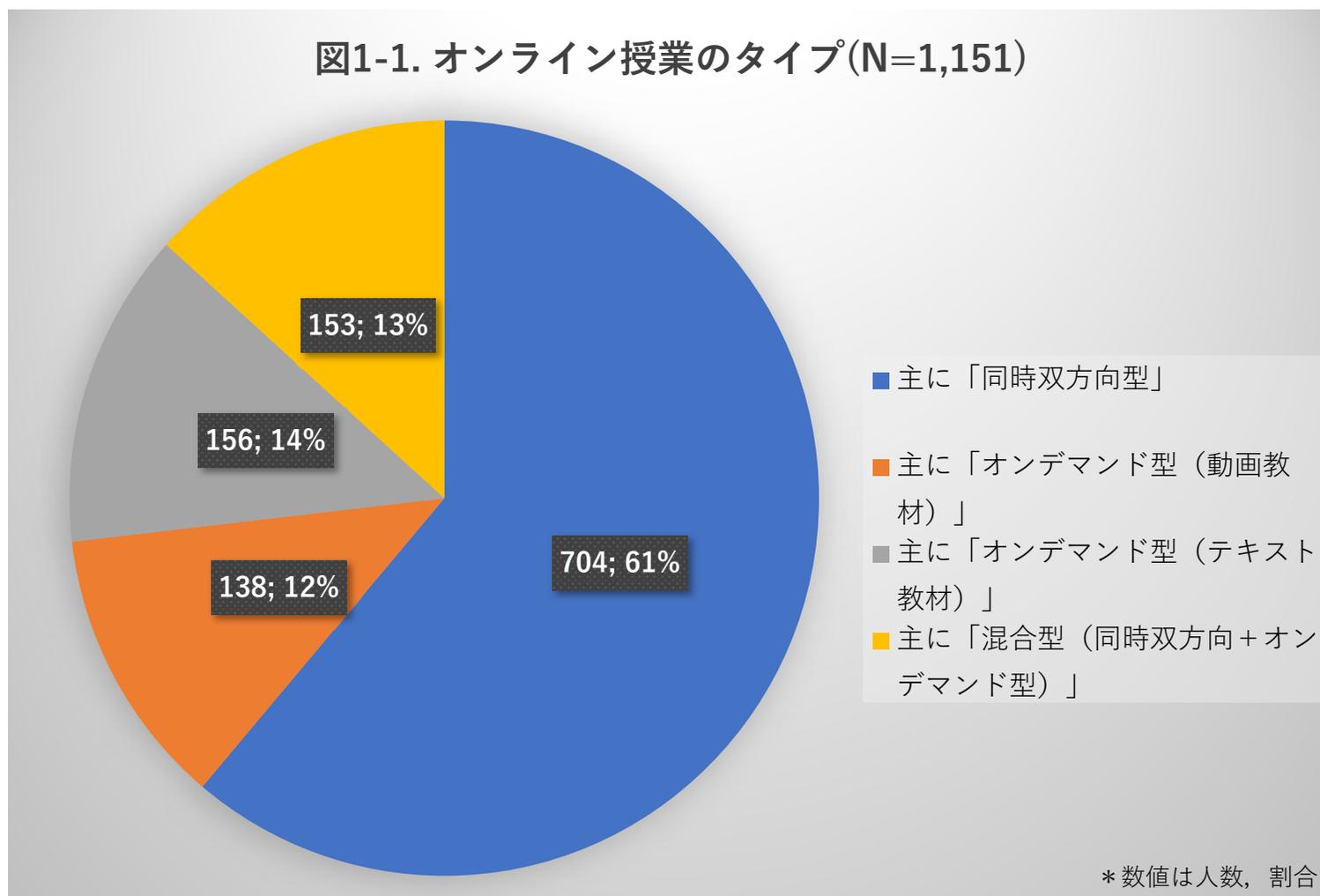
*自身が担当している科目のうち、オンライン授業を実施している科目を「1つ」選んで、科目区分と科目名を記入するよう指示



調査内容

1. 基本情報（氏名，常勤・非常勤の別，部局，職階）
2. オンライン授業を準備・実施する際に利用したサポート
3. 対象科目の絞り込み（科目区分，科目名）
4. 対象科目の基本情報（授業種別，対象部局・学年，履修者数・出席者数等）
5. オンライン授業の実施方法
6. 実施場所
7. 準備負担
8. 準備時間
9. 情報共有
10. 同時双方向型への質問（方法，形態，構成，討論，録画等）
11. オンデマンド型への質問（メディア，方法，連絡，双方向性等）
12. 教材とその取扱い（著作物の種類，配付・提示，注意・指示等）
13. 学習の評価（基準，課題の頻度・提出・返却，小テストの方法等）
14. PandAとKULASISで使用しているツール
15. TAの利活用
16. 授業の効果（良かった点(教員・学生)，困っている点）
17. オンライン授業についての今後の見込み
18. オンライン授業実施のための環境と支援
19. 今後の授業で取り入れていきたいこと（FA）
20. 意見・要望・課題（FA）

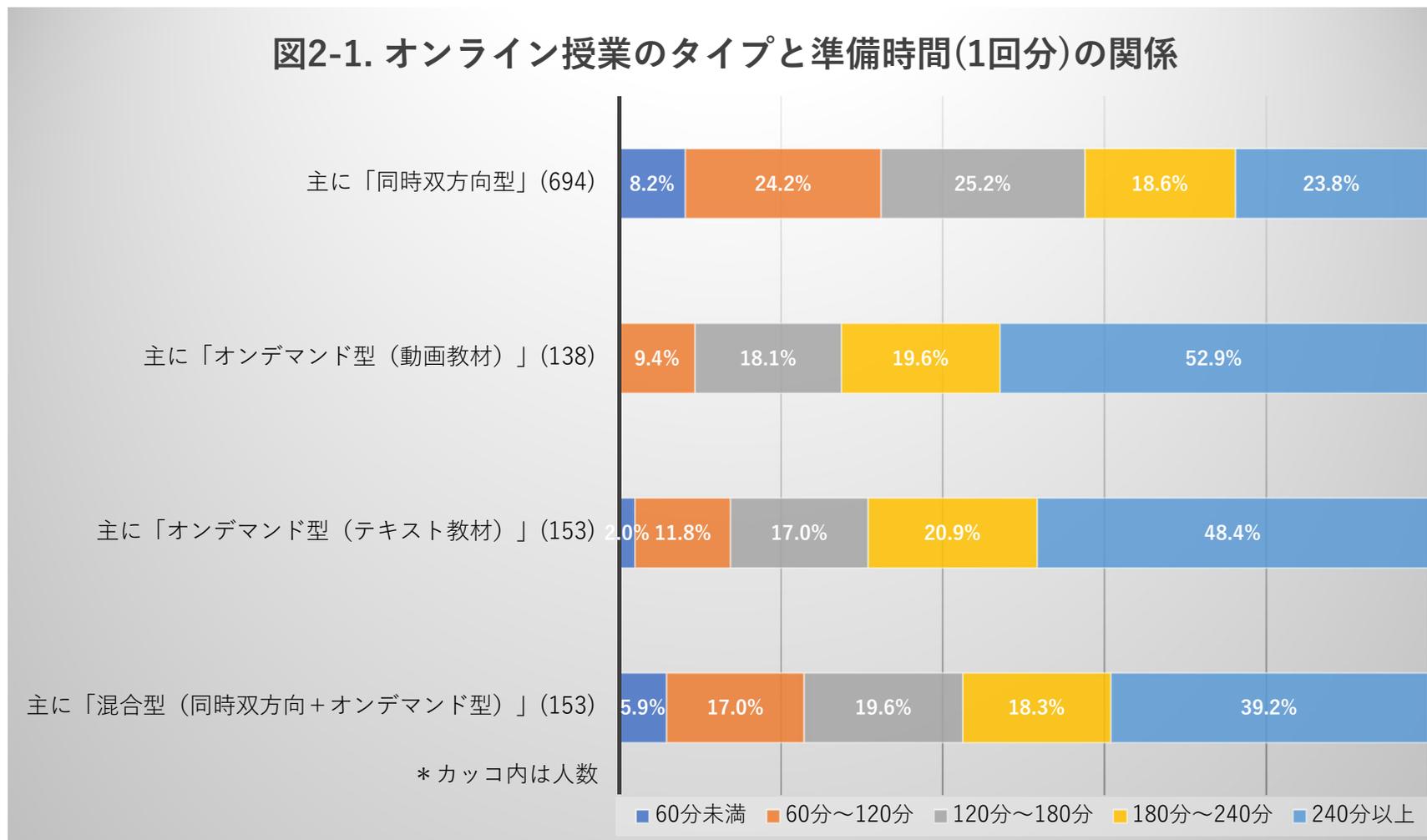
1. 選択されたオンライン授業のタイプ



約6割の教員が同時双方向型, 4人に1人がオンデマンド型を選択

2-1. オンライン授業のタイプと準備時間

図2-1. オンライン授業のタイプと準備時間(1回分)の関係



同時双方向型は4人に1人，オンデマンド型では約半数が240分以上

2-2. 課題の頻度と提出メディア

図2-2. 課題の頻度(N=1,120)

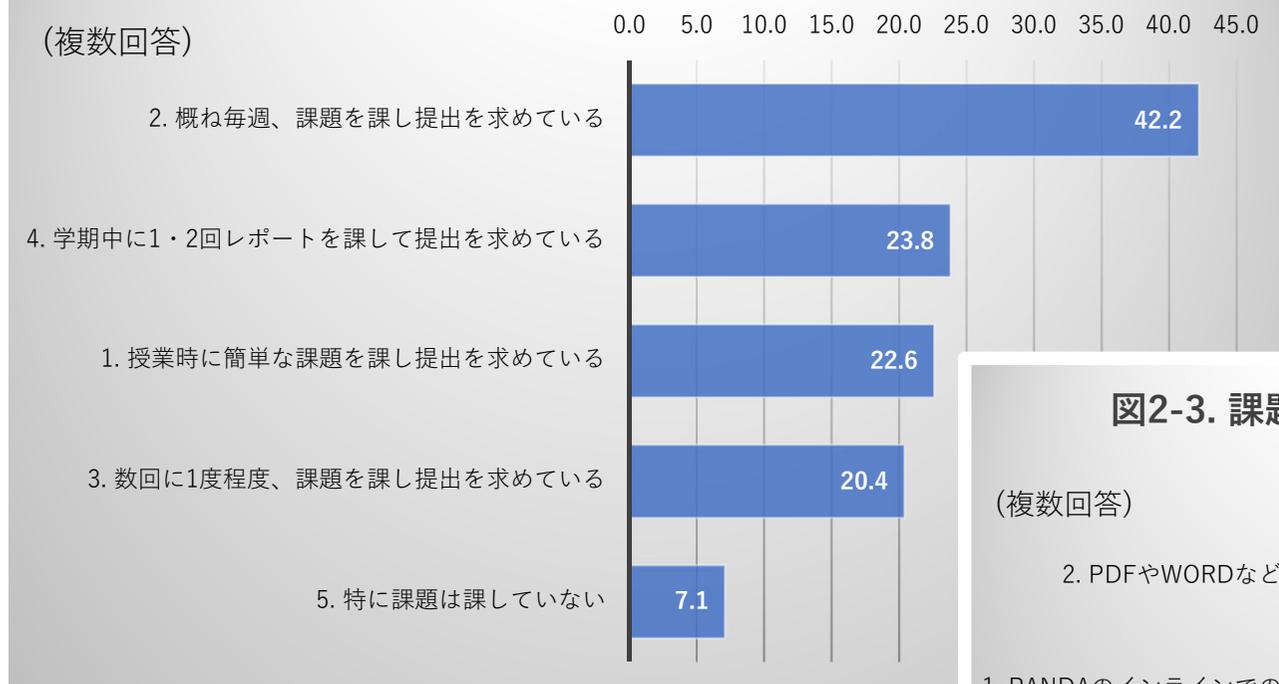
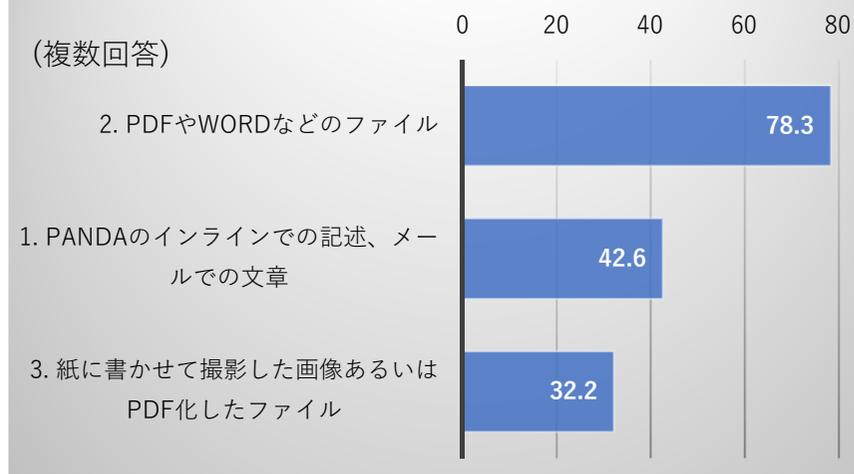
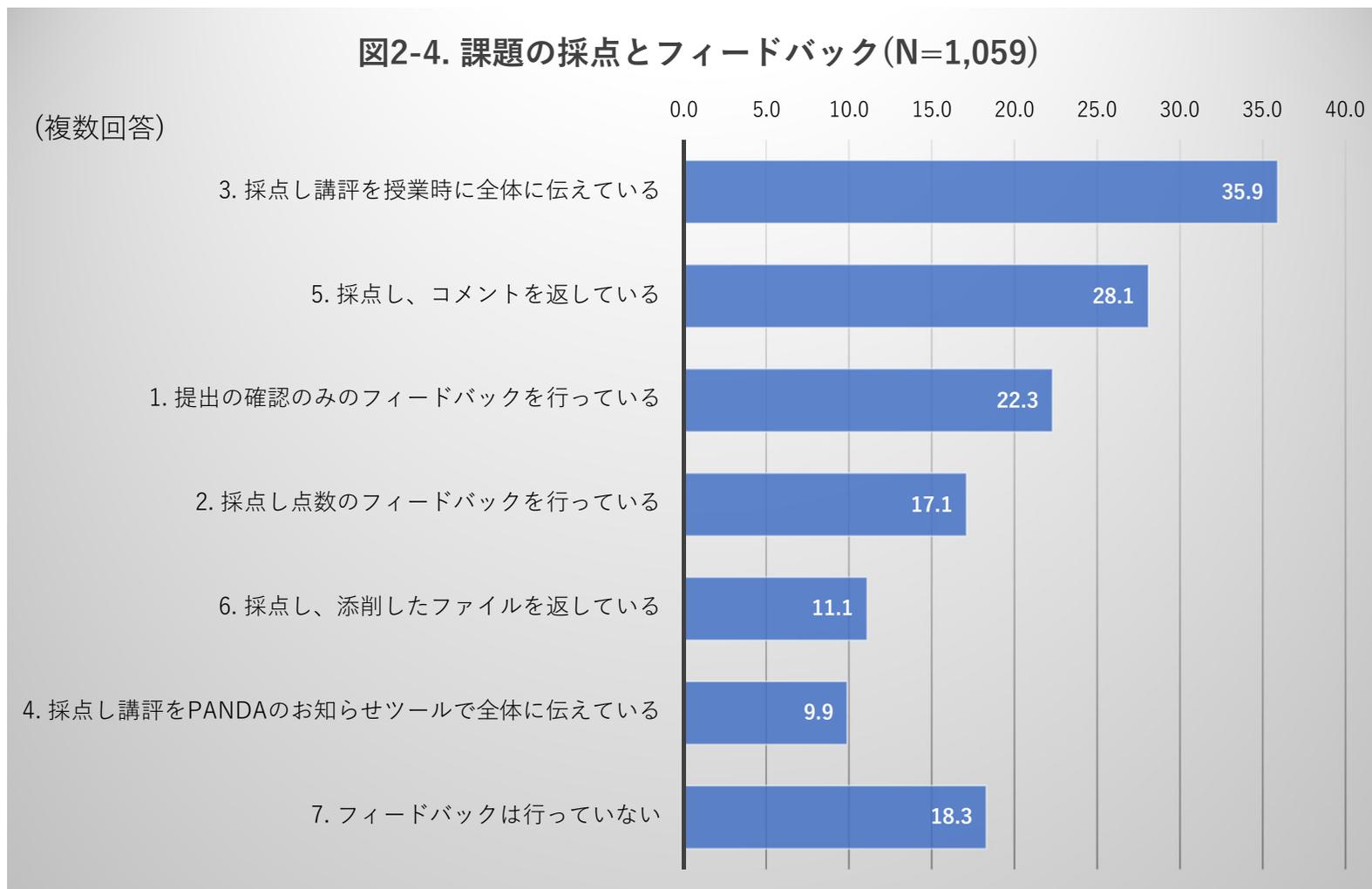


図2-3. 課題の提出メディア(N=1,047)



4割強の教員が概ね毎週課題を課し、約3割が紙に書かせて電子化・提出

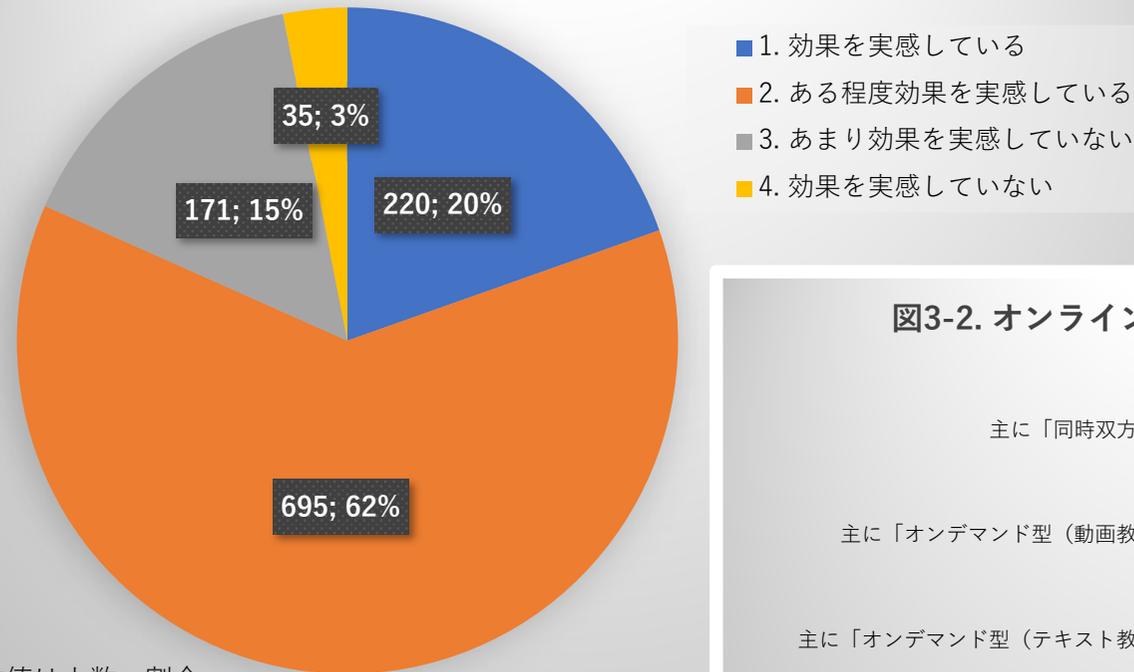
2-3. 課題の採点とフィードバック



約6割の教員は、採点し、何らかの形でフィードバックしている。

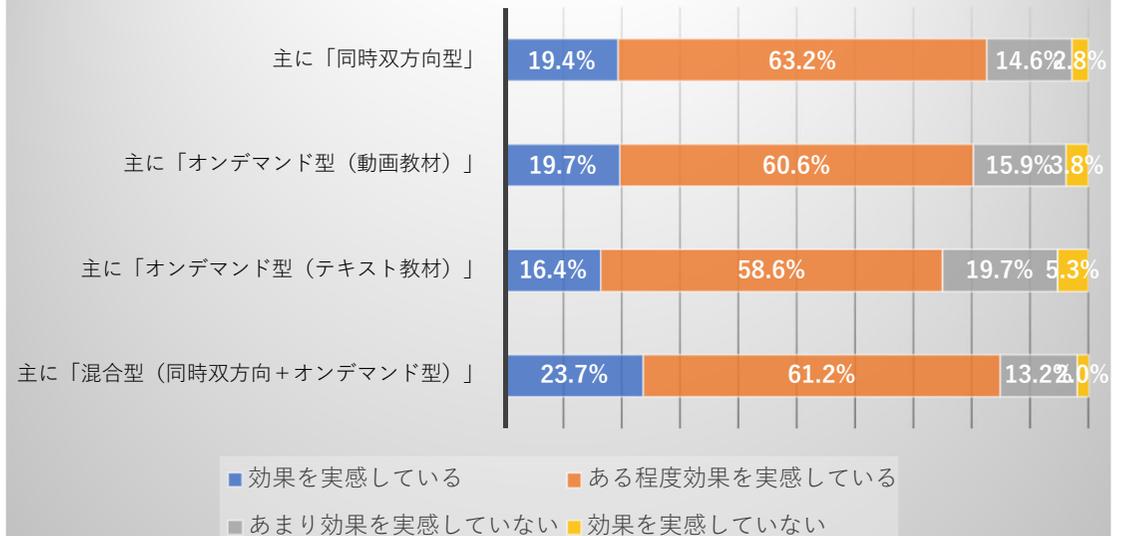
3. 学習効果の実感

図3-1. 実施前の想定と比べた学習効果の実感(N=1,121)



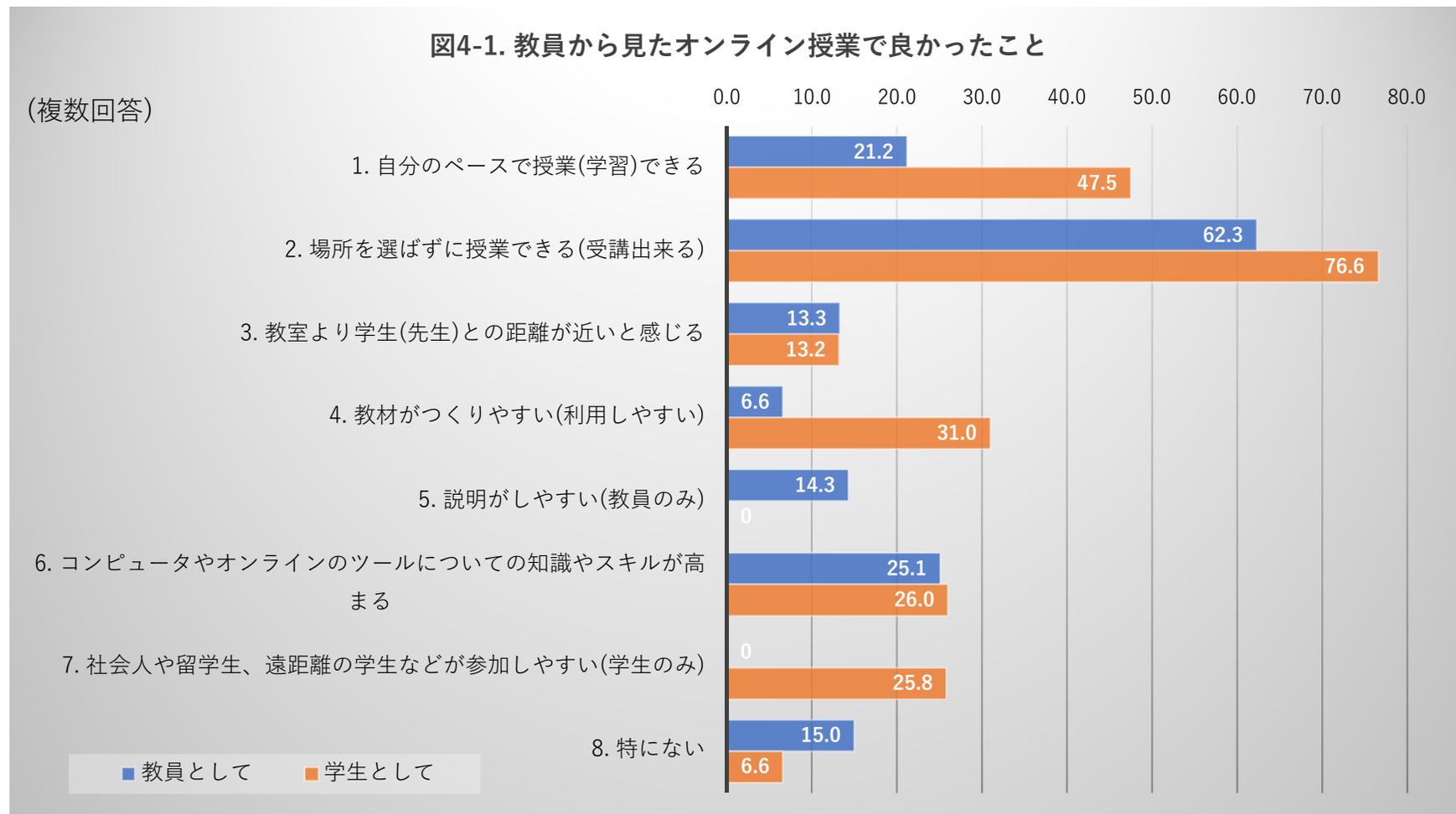
* 数値は人数, 割合

図3-2. オンライン授業のタイプと効果実感(N=1,121)



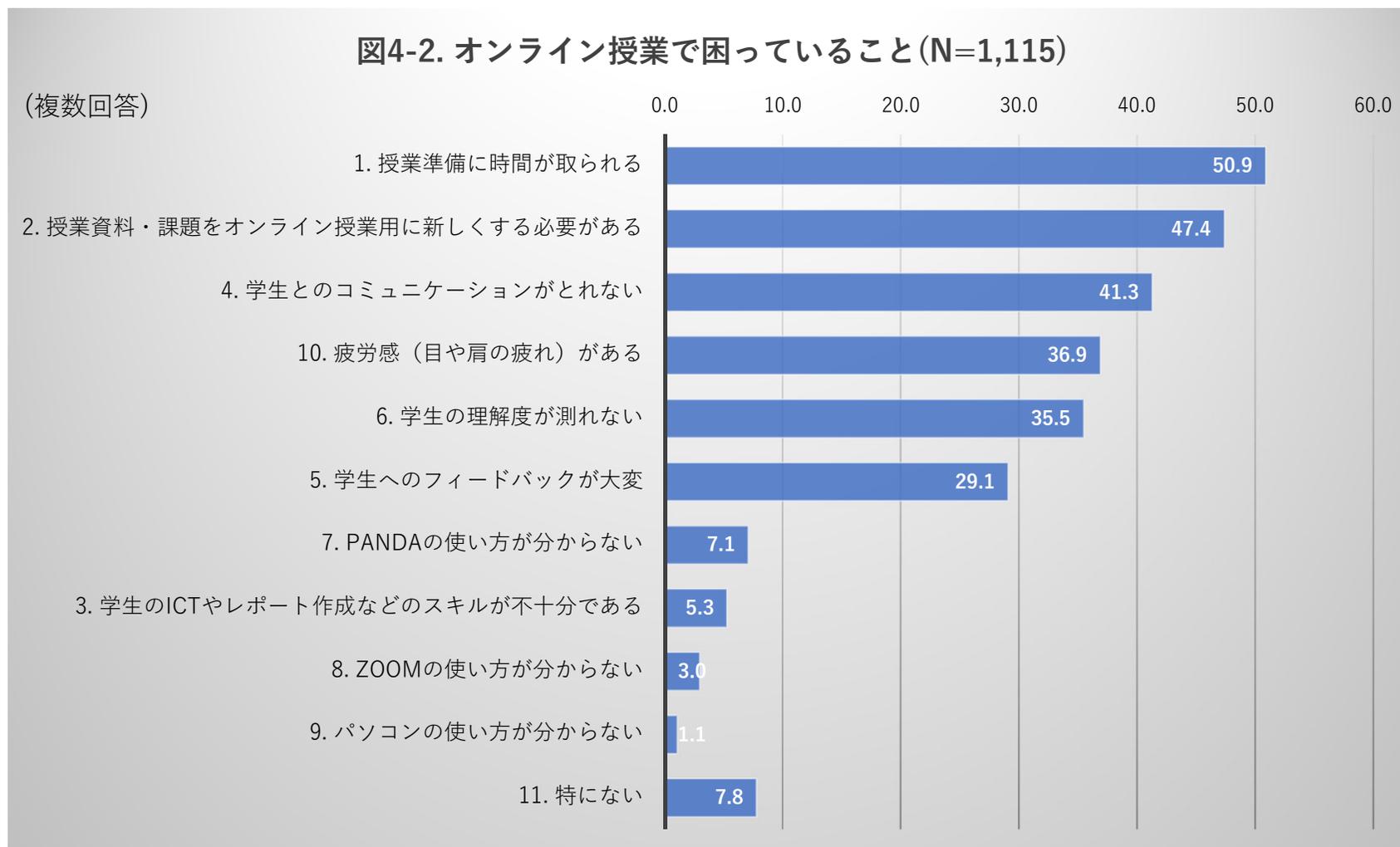
8割強の教員が学習効果を実感, 混合型が最も効果を実感

4-1. オンライン授業で良かったこと



場所を選ばず、自分のペースが共に上位、教員より学生にメリット

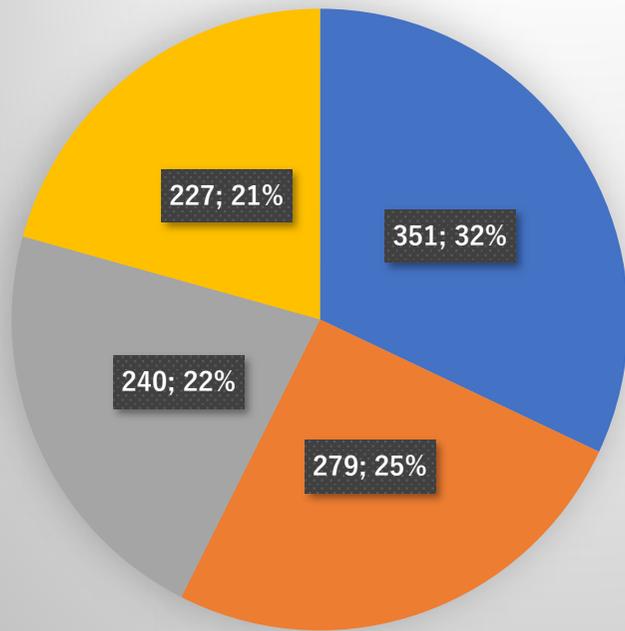
4-2. オンライン授業で困っていること



授業準備や学生との双方向性に課題、各種ツールの使い方はOK²

5. オンライン授業についての今後の見込み

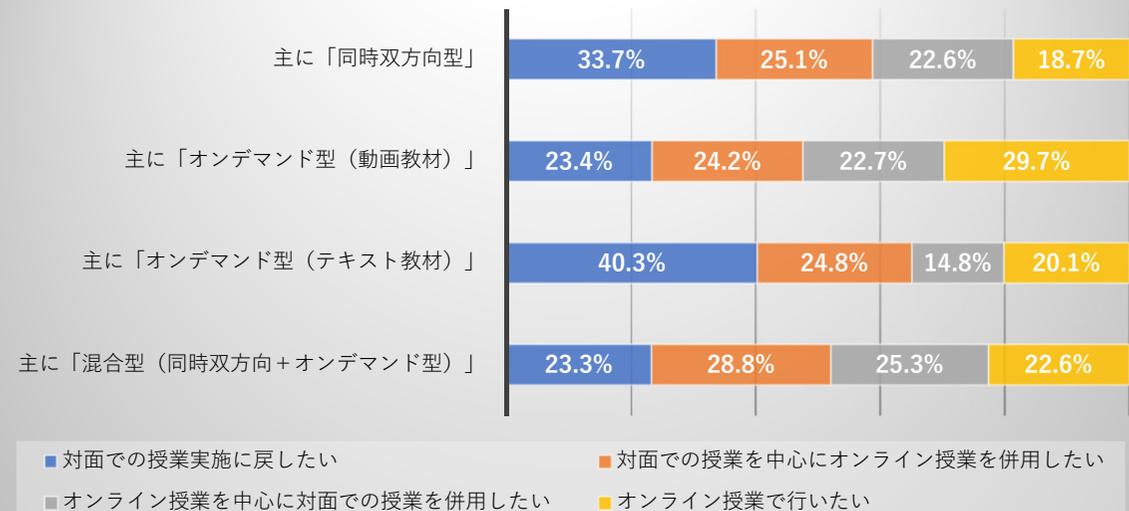
図5-1. 今後の授業の実施方法(N=1,097)



- 1. 対面での授業実施に戻したい
- 2. 対面での授業を中心にオンライン授業を併用したい
- 3. オンライン授業を中心に対面での授業を併用したい
- 4. オンライン授業で行いたい

* 数値は人数, 割合

図5-2. オンライン授業のタイプと今後の授業(N=1,097)



3人に2人は何らかの形でオンライン授業を取り入れたい考え 13